

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

## ベナン月報(2021年11月)

### 【内政】

- 8日、経済犯罪・テロリズム防止裁判所(CRIET)は、4月の大統領選挙後に選挙妨害の罪で逮捕されたヴァランタン・ジェノタン元法務大臣ら20名の容疑者を釈放した。(10日、Le Matinal 紙)

### 【外政】

- 9日、タロン大統領は、26点の文化財返還に係る署名のため渡仏し、アビンボラ観光・文化・芸術大臣と署名式に参加し、マクロン仏大統領と二者会談を行った。(10日、La Nation 紙)
- 29日、セネガル・ダカールにて開催された第8回中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)閣僚級会合にアベノンシ外務・協力大臣及びアスマン産業・商業大臣が出席した。(12月1日、La Nation 紙)

### 【治安・保健】

- 19日、セイドゥ内務・治安大臣は、議会における2022年度予算案説明において、警察活動の円滑化を目的に公共空間に監視カメラを設置し、治安の強化に取り組んでいくことを述べた。(22日、La Nation 紙)
- 30日朝、アリボリ県バニコアラ市のケレム橋付近でベナン陸軍の警備隊がジハーディスト2名に襲撃され、応戦した警備隊によりうち1名が射殺され、残り1名は逃走した。(12月3日、La Nation 紙)

### 【経済】

- 11日、草の根人間の安全保障無償資金協力「アボメ・カラヴィ市アホスベタ中学校校舎建設計画」の引渡式が実施され、近藤茂参事官が出席した。(15日、L'Économiste 紙)
- 16日、津川貴久駐ベナン日本国大使とアベノンシ外務・協力大臣は、令和3年度対ベナン無償資金協力「クフォ県及びプラトー県における飲料水供与システム強化計画」(供与限度額32億1,800万円)の交換公文署名式を実施した。(17日、La Nation 紙)

### 【文化・その他】

- 10日、文化財返還調印式のため渡仏していたタロン大統領は帰国し、大統領府において文化財返還式典を実施した。演説においてフランスに謝意を表明するとともに、ベナン文化に対する誇りと国民アイデンティティについて語った。(11日、La Nation 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

## 【内政】

- ・ 2日、国民議会は、ブラボヌ議長により提出された第5回活動報告書(対象期間4月1日～9月30日)を全会一致で承認した。(3日、La Nation 紙)
- ・ 外務・協力省は、8日より庁舎に入館するすべての人に対し、ワクチンパスポートもしくは48時間以内のPCR検査陰性証明書の提示を義務づける旨公表した。(8日、Le Matinal 紙)
- ・ 8日、経済犯罪・テロリズム防止裁判所(CRIET)は、4月の大統領選挙後に選挙妨害の罪で逮捕されたヴァランタン・ジェノタン元法務大臣ら20名の容疑者を釈放した。(10日、Le Matinal 紙)
- ・ 16日、ワダニ経済・財務担当国務大臣を皮切りに、国民議会予算委員会における各大臣による2022年度予算案の説明が始まった。(17日、La Nation 紙)

## 【外政】

- ・ 7日、ECOWAS臨時首脳会談に出席したシャビ・タラタ副大統領は、マリ及びギニアが憲法の定める秩序を早期に回復するよう要請した。(8日、La Nation 紙)
- ・ 9日、タロン大統領は、26点の文化財返還に係る署名のため渡仏し、アビンボラ観光・文化・芸術大臣と署名式に参加し、マクロン仏大統領と二者会談を行った。(10日、La Nation 紙)
- ・ 16日、ハートレイフ駐ベナンEU大使は、モレッティ高等視聴覚通信局(HAAC)局長と面談し、同局の憲法上の役割、民主主義におけるメディアの役割等について協議した。(17、Le Matin Libre 紙)
- ・ 23日、ベナン・ナイジェリア協力に関する合同委員会の第11回会合がコトヌ市にて開催され、アベノンシ外務・協力大臣及びユスフ・ナイジェリア代表が出席した。会合ではテロ対策、国境管理、法整備等について話し合われた。(25日、La Nation 紙)
- ・ 29日、セネガル・ダカールにて開催された第8回中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)閣僚級会合にアベノンシ外務・協力大臣及びアスマン産業・商業大臣が出席した。(12月1日、La Nation 紙)

## 【治安・保健】

- ・ 10月末にコトヌ港に到着したコンテナから、アサルトライフルが発見され、共和国警察はコンテナの所有者と輸入業者を逮捕した。(3日、Le Matinal 紙)
- ・ 共和国警察は、コトヌ市在住のレバノン人の商店経営者宅で750kgのコカインを押収した。(3日、Le Matinal 紙)
- ・ 16日、ビオ・チャネ開発及び省庁間連携担当国務大臣は、新型コロナウイルスワクチンの接種者を12月末までに追加で100万人拡大すべく、接種促進キャンペーンを開始した。(17日、La Nation 紙)
- ・ 17日夜から18日未明にかけ、ダントツパ市場で火災が発生し、建物が焼失した。死者は確認されていない。(22日、La Nation 紙)

- ・ 19日、セイドゥ内務・治安大臣は、議会における2022年度予算案説明において、警察活動の円滑化を目的に公共空間に監視カメラを設置し、治安の強化に取り組んでいくことを述べた。(22日、La Nation 紙)
- ・ 30日朝、アリボリ県バニコアラ市のケレム橋付近でベナン陸軍の警備隊がジハーディスト2名に襲撃され、応戦した警備隊によりうち1名が射殺され、残り1名は逃走した。(12月3日、La Nation 紙)

## 【経済】

- ・ 3～5日、オウセリ駐ベナン・トルコ大使は、ズ県・コリーヌ県・ボルグ県を訪問し、トルコによって資金援助される事業を視察した。(9日、L'Économiste 紙)
- ・ 2021年世界腐敗指数が公表され、ベナンは2020年の126位から150位まで順位を落とした。(11日、L'Économiste 紙)
- ・ 10日、ベナン政府は、2021－2030農業分野投資戦略を閣議採択した。同期間に農業分野に投資される金額は、2,200億FCFA(約440億円)に上る。(11日、L'Économiste 紙)
- ・ 経済・財務省は、2022年度の予算策定にあたり、2022年度の経済成長率が7%を維持するとの見通しを示し、予算を社会開発に重点配分する方針を明らかにした。(12日、La Nation 紙)
- ・ 西アフリカ経済・通過同盟(UEMOA)の報告によれば、ベナンの9月の食料品価格は、前月比で2.9%上昇した。(12日、La Nation 紙)
- ・ 11日、草の根人間の安全保障無償資金協力「アボメ・カラヴィ市アホスベタ中学校校舎建設計画」の引渡式が実施され、近藤茂参事官が出席した。(15日、L'Économiste 紙)
- ・ 11日、国立統計・経済分析研究所は2021年第3四半期の農産物物価指数を公開し、第2四半期において穀物が45.4%上昇したことが明らかとなった。(16日、La Nation 紙)
- ・ 16日、津川貴久駐ベナン日本国大使とアベノンシ外務・協力大臣は、令和3年度対ベナン無償資金協力「クフォ県及びプラトー県における飲料水供与システム強化計画」(供与限度額32億1,800万円)の交換公文署名式を実施した。(17日、La Nation 紙)
- ・ 西アフリカ中央銀行(BCEAO)による2020年輸出報告書において、ベナンは西アフリカ経済・通貨同盟(UEMOA)圏で最大の綿花輸出国であることが公表された(同圏綿花輸出の42.9%)。(17日、L'Économiste 紙)
- ・ 16日、西アフリカ経済・通過同盟(UEMOA)の有価証券取引所の総局長は、ベナン政府が新型コロナウイルス対策のため借り入れていた2,336億FCFA(約467億円)の債務を29日に返済することを発表した。(24日、La Nation 紙)
- ・ 26日、ハートレイフ駐ベナンEU大使は、メディア向け昼食会を開催し、2021－2024年対ベナン開発協力事業に1,670億FCFA(約334億円)を拠出することを公表した。(12月2日、L'Économiste 紙)

#### 【文化・その他】

- ・ 10日、文化財返還調印式のため渡仏していたタロン大統領は帰国し、大統領府において文化財返還式典を実施した。演説においてフランスに謝意を表明するとともに、ベナン文化に対する誇りと国民アイデンティティについて語った。(11日、La Nation 紙)
- ・ 9日、ヤイ・ボニ前大統領は、フランスからの文化財の返還を受け、自身の Facebook において、同文化財の返還に向けたタロン大統領による取り組みを称えた。(11日、L'Événement Précis 紙)